

共生・協働の 地域社会づくり

枕崎七夕の会
TEL 090 (7395) 8264

街を彩る「七夕飾り」による地域活性化をめざして

七夕の季節になると、色とりどりの七夕飾りを軒先に並べ、にぎやかで活気の溢れる風景が見られていた枕崎でしたが、時代の経過とともにこのような風景が影を潜めるようになりました。

枕崎七夕の会は、昔のように七夕飾りで街を活気づけたいとの思いを共有する約20人の有志の協力で、平成21年にスタートしました。

地域住民、幼稚園や保育園などにも呼びかけて、庭先や駅前通り・市役所通りに約130本の七夕飾りを復活させたところ、「昔の元気だった枕崎になったみたい、綺麗だね、嬉しいね、ご苦労さん、ありがとうね」など、感激する声が聞かれ、活動は翌年につながりました。

枕崎七夕の会では、「枕崎を元気にしたい！」その思いで年月を重ね、地域の団体や多くの市民の協力を得て活動を展開しています。活動資金となる協賛団体名入りの七夕旗の掲揚や、フェイスブックに写真を



七夕飾り付けの様子

使ったカウントダウンを掲載して七夕月間を盛り上げ、メインの七夕飾りは、毎年8月上旬に行われる枕崎港まつりの日に合わせて「枕崎の夏の風物詩」として通りや庭先を彩り、祭りに花を添えます。

平成25年からは、七夕旗を手にして人文字づくりにもチャレンジ、1年目は枕崎の「風の芸術展」にちなみ「風」を形づくり、多くの市民が「枕崎愛」で思いを一つにしました。

7年目の今年は、7月5日にNPO法人「子育てふれあいグループ自然花」の七夕祭りとコラボで七夕ライブを開催しました。協賛の七夕旗も333本に達しました。

また、戦後70年の今年は、「我がまちふるさと枕崎」が戦後の焼け野原から復興していく様子、過去の歴史、風景などを振り返る企画写真展を実施しました。3年目の人文字づくりは、平和の「和」、人と人との「和」、「なごみ」などの意味を込めて「和」を



街を彩る七夕飾り

作りました。

一言で七夕飾りと言っても、多くの参加の呼びかけ、笹竹の切り出しや配布、設置、後片付けなどの苦労もあります。地域

のみなさんのさまざまな願いを込めた七夕飾りがたなびく活気ある様子を見て、「多くの市民のみなさんが笑顔になり、枕崎がもっと元気になってほしい」と会長の板敷さんは語ります。

枕崎七夕の会は、地域や家庭で当たり前に七夕飾りが飾られるようになることを目指しており、今度もさまざまな団体と連携した活動が期待されています。



人文字づくりにチャレンジ

代表者からひとこと



枕崎七夕の会 いたしき ひろみ
板敷 浩実さん

枕崎の七夕が夏の風物詩として広く市民のみなさんの心を癒やし、夢・希望として、根付いてほしいという思いで活動しています。

共生・協働の地域社会づくりや
NPO法人に関する問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階) TEL 099(286)2241
◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) TEL 099(221)6613
関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。